

## 第1回作品募集9月20日まで

日本建築家協会関東申信越支部長野地域会（JIA長野県クラブ、林隆代表）は新たに「JIA長野建築賞」を創設し、作品の募集を開始した。応募締め切りは9月20日。同協会本部で実施する「JIA日本建築大賞」「優秀建築100選」や支部単位で開催する賞がある中、都道府県クラブ単位での賞創設は「長野県クラブが初めて」という。同クラブ発足から35年が経ち、新たな取り組みとして「県内に創られた優れた建築を顕彰すること、新しい社会のあり方を地方から発信する」のが目的。林代表は「この賞を通して県内の建築文化の価値を広めることにつなげたい」とする。

### 第1回の審査員は 内藤廣氏

賞は毎年実施し、審査員は毎回、国内外で活躍する建築家1

# JIA 長野建築賞

## 創 設

人に委嘱する。今回は内藤廣氏（内藤廣建築設計事務所、東京大学名誉教授）が務める。応募は対象となる建築の主たる設計者の自薦による。賞は大賞1点とその他審査員が必要と判断した特別賞数点を定める。林代表は「当クラブ独自の賞として、一度選にもれても再度チャレンジできるなど、自由度の高い賞にした」とする。

審査員を務める内藤氏は「誰もが漠とした不安を抱えて日々を生きている。そのような人々の気持ちに答え、それを受け止めるような建築はないものだろうか。建物が『だいじょうぶ』と言っているような、その空間が『ここに居てもいいよ』と語っているような、そんな奇跡のような建築はないだろうか」と同賞を通じた建築との出会いに期待を寄せている。

応募の詳細や要項は同クラブホームページを参照。

## 都道府県クラブ単位では初